



福井大学教育学部附属  
義務教育学校

No. 6

令和4年3月15日

# 学校だより

修了式に思いを寄せて

前期課程 修了式 校長式辞より

一層春色が濃くなり、校門の桜の固い蕾も、日に日に膨らんでまいりました。栄えあるこの佳き日に、福井大学教育学部附属義務教育学校前期課程を修了される64名の皆さん、修了おめでとうございます。

コロナウイルスに対する配慮が欠かせない現状ですが、ご多忙の中、皆さんの門出のお祝いに、保護者の皆さまにご参列いただきました。高い所からではございますが、心から感謝し、お礼を申し上げたいと存じます。ありがとうございます。

さて、新型コロナウイルス感染対策から、2年間、皆さんの活動は大きな影響を受けてきました。こうした状況の中で、どんな時も、仲間と前を向き、活動の可能性を生み出し、拓げて歩んできましたね。

先ほど、修了証書を授与いたしました。皆さんのしっかりとした態度、はっきりとした返事、その手に修了証書を受け取る凜とした姿から、進級学年に向けての強い自覚と決意が伝わってきました。先生方も、私と同じ気持ちで、心から拍手を送られたことと思います。

ふり返れば、清掃や委員会活動、たて割り遊びなどを実施できない期間が長く続きました。正直、皆さんの活躍する場に多くの制約があり、リーダーとしての自信が深まっていくのか憂え(うれえ)ました。しかし、それは杞憂(きゆう)でした。日々の学校生活の中で、自分たちができることを実行しようと取り組み始めた皆さんは、当たり前のことを当たり前にするだけでなく、その「当たり前の質の向上を願う」思いを込めて活動していると感じました。1年生から5年生までの後輩たちも、附属のプライドを言動や姿勢から示す皆さんのリーダー性に感化され、マナーを守ろうとする意識が育まれました。

大いにリーダー性が発揮されたのは、体育大会での競技準備と進行でした。予行の時の動きとは全く異なり、同じ集団とは思えない、見違えるほどの迅速で的確な行動で、自ら率先して動く皆さんの姿勢が強く印象に残っています。また、火花、黄金の波、白虎、彗星の各テーマのもと、どの色も、応援リーダーを支え、皆さんが一丸となって5年生を指導する様子に、64名の強いチーム力が伝わりました。練り上げられた掛け声。一体感と創造力あふれるレベルの高さで繰り広げられた応援合戦。さすがと思う構成と、躍動する姿は、今も目に焼き付いています。何より、驚嘆したのは、各色の団旗の芸術性の高さです。デザインの独創性、鮮やかな配色の巧みさは、小学生の域を超えていると感心しました。

さて、皆さんは、社会創生プロジェクトテーマ「幸福井・未来 想像 創造」を掲げ、仕事と幸福のつながりに着目して探究を続けてきました。自分たちが学校内でできることから始めた仕事実践を発展させ、「働くこと」の意味や仕事への思いを多彩な職業の方から、直接お話を聞く出前授業での体験活動を通して学んでいきましたね。講師の方々のお話から仕事への誇りとやり

がいが、自身の幸福であり、それが誰かの幸福につながり役に立つ喜びが、一層働く喜びを倍増させるエネルギーとなることに気づいたことでしょう。仕事と幸福のつながりを追究してきた皆さんに聞きます。福井の「幸福」、そして、自分自身の幸福を創り上げるために何が大切か、現時点での結論は得ていますか。

こうした一連の社会創生プロジェクトでの個人探究と協働探究を繰り返す学び方が、本校のめざす「思考力」と「実践力」を培い、自律した学習者に成長していく基盤となるのです。主体的に責任ある行動をすることで変化を起こす力が養われます。周りから認められるようになると、自分への自信も育まれていきます。2年間、幸福を解明しようと取り組んできた皆さんに、人間行動学博士のデニス・ウェイトリーの『成功の心理学』から、私が、感銘を受けた詩を紹介します。

### 「あなたの幸せがここにある」

デニス・ウェイトリー

幸せな人は、変わるものを変えようとします。  
変わらなかったものを静かに受け入れます。  
幸せな人は、喜びを大きく、悲しみを忘れます。  
幸せな人は、『愛する』という言葉で最初に学びます。  
幸せな人は、『ノー』と言える『ちょっとした勇気』を持っています。  
幸せな人は、幸せをつかむ努力をします。  
不幸な人は、幸せに見える努力をします。  
幸せな人は、自分に必要なものは何かを知っています。  
幸せな人は、幸運を必ず生かします。  
幸せな人は、自分を信じて決断します。



この詩は、これから進む新たなステージにおいて「幸せ」をつかむ八つの種(コツ)が示されています。あなたの心に響いた種は何番目でしょうか。

さあ、夢に向かって飛び立つ修了生の皆さん。さらなる羽ばたきの時です。絵本「小鳥の贈りもの」の小鳥のように、進んでチャレンジする勇気、諦めない気持ちだけを持ち続けてください。何よりも大切なのは、自分ではできると信じることです。胸を張って笑顔で飛び立ちましょう。皆さんの行く道には、思いもしない変化が待ち受けているかもしれません。恐れることはありません。あなたが大切にしている友達が、家族が、必ずやそばで応援しているからです。

保護者の皆様、お子様のご修了おめでとうございます。いよいよ中学生です。思春期と言われる人生において最も多感な時期に入ります。楽しみの多い反面、悩むことも多いかと存じます。これからも今までの慈しみを忘れることなく、成長期の不安定な心を支えていただきたいと思います。成長期こそ、力強い支えと細やかな愛情が必要です。どうぞ、お子さまが夢に向かう姿を温かく見守り、導き、家庭で笑顔の花をたくさん咲かせてください。

最後になりましたが、修了生の皆さん、前期課程で学んだ誇りを持って、新しい場所であなたの持てる力を発揮するよう、重ねて願っています。64名の子どもたちを温かく見守り、励ましていただいたすべての皆さまに深く感謝申し上げます、式辞といたします。

令和4年3月 15 日

福井大学教育学部義務教育学校

校長 北 典子